片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

まず肩の力を抜いて！

「出来ない事」もいつかはできる！
「出来る事」から確実に！

「また遊びに来ます」と笑顔で巣立った卒業生を見送って、やれやれと思っていたらもう一月経ってしまったのですね。さてと、緑が深くなり、風が柔らかくなり、そして、時折日差しに強さを感じたら、「受験の本番」の合図です。

当たり前のお話ではありますが高３生は初めての受験でございますが、私どもと致しましては、毎年毎年のことでございます。そして、毎年毎年同じようなことばかり言っておりまして、どうせ今年も言うのであれば今のうちに言ってしまっておこうと思います。

残りの高校生活での思い出作りを優先すれば、ほろ苦い思い出しか残らないよ。

残りの高校生活で思い出作りに明け暮れると、高い確率で受験で苦戦します。自分のすべきことを後に回し、友情を深め、思い出を作ろうとしても、自分が頑張ってないと後でほろ苦い思い出と後悔しか残りませんよ。

ただ、苦しい受験勉強を続けていると「息抜き」はとても大事なので、「息抜き」として割り切って楽しむことはとても良いことです。受験勉強を最優先に考えて行動しましょう。

センター。センター。またセンター。

センター三昧の罠。

夏以降、センター三昧病にかからないこと。センター過去問は絶対に解いておくべきですが、それだけやれば良いというものではありません。受験勉強が後手に回ってしまった人は時間が無くてセンター対策を過去問対策だけに頼ろうとします。しかし、センターは少しずつ傾向を変えてきます。想像してみて下さい。受験本番の極度の緊張の中で、これまでの傾向を信じきっていた自分が読みを外され頭が真っ白になっていく状態を。ご存知の通り、センターでは一瞬のタイムロスが命取りです。真っ白になっている暇はありません。過去問対策だけでは揺さ振りに付いていけませんので上っ面の対策でなく、しっかりとした対策を心掛けて下さい。センターに失敗した人が、失敗の原因としてあげる大きな原因の一つです。

苦手を潰すこと！

大学受験も高校受験もそうですが、「苦手を潰すこと」が一番大切なことだと思います。たまに得意な教科の得点やら順番やら偏差値を自慢するのは良いけど、その教科以外の教科はパッとしないという人がいます。

例えば地歴が得意な人で九割以上の得点率を狙える人が、地歴が好きだからと言ってその教科ばかり勉強したところで、伸びても一割分しか伸びしろがありません。国公立を狙う際の基準としてはセンター七割超と言い切っても過言ではないと考えております。七割ということは、どの教科も率なく得点できなければなりません。苦手教科を無意識に後に回すことが多いのですが、意識して優先順位を上げて取り組むことをお勧め致します。

伸びていく過程。

「伸びる」には個人差はあるでしょうが、パターンがあると思います。「伸びる」ことは基本的な知識を覚え、定着させていくことから始まります。そして、知識の量が増え、覚えた知識を使っていくうちに、次第に覚えた知識が、時に教科の垣根を越えて他の知識と線で結ばれ始め、初めは無機質な点として存在していた知識が、線で結ばれることで有機的に活動を始める。このような状態になってくると、知識も以前に比べ簡単に覚えられ、忘れ難くなり、応用問題にも反応できるようになり勉強は楽しくなってきます。ただ、知識は忘却の波にさらされ易く、日々のケアは不可欠になってきます。

良い例えではありませんが、私の中にある感覚で偏差値別に書いてみようかと思います。偏差値４０以下は、何を言っても基礎中の基礎が欠落している状態で、難しいことは抜きにして、とにかく「覚えろ！ 必死に覚えろ！」が至上命題となってきます。偏差値５０以下では知識入力段階で、まだ知識は点としてしか存在しておらず、徐々に知識が増えて楽しくはなってきているでしょうが、「校外模試」などで解答を導くにはまだまだ知識の量、知識の結びつきが弱い段階。偏差値６０以下では、知識は随分とリンクし合う感じになり、自信を持ち解答できる問題が増えてくるのですが、あくまで基礎知識の出力中心の体力しか無いため、応用問題には対応し切れない。その分得点は伸びない。このくらいの段階で勉強法は応用・発展重視へと見直すことが必要となると思います。偏差値６０以上では、自分の体の一部となった知識や考え方を使って、とにかく「考える」ことが大切になります。偏差値６５以上になってくると、基礎知識は時間をかけずともぱーっと見直せばケアできる段階なので、時間は「考える」ことに多く割きます。学習計画も時間に左右されるよりも、「自分が満足すること」を優先させた方が良いでしょう。この段階になると、かなりな難関大学が現実的なターゲット校になっているはずです。

「自分に負けない強さ」とは？ 「諦めない」とは？

「負けないゾ」とか「諦めないゾ」と気合を入れ、ガチガチに固くなっている人を時折見かけます。気持ちは分かりますが「負けない強さ」というものは、ガチガチの「固さ」ではありません。逆に「柔らかさ」であり「しなやかさ」が「強さ」となることが多いと思います。「諦めない」というのもガチガチに凝り固まった状態を指すのではなく、「柔軟で臨機応変」な取り組みも「諦めない」ことに繋がると思います。

志望校合格のためにやらねばならぬことを書き出して、それをやり切ろうと頑張って、時間が足りずに「くそー」と悔しがるのも青春ですが、「できんもんはできん。どうやったらええのか」を考えるのが現実的です。

「諦める」ということは終わりを意味しますが、「諦めない」と凝り固まってガチガチになると自分の体力・精神力が終わってしまいそうになります。「諦める」のではなく「限界を素直に認める」と考えてみて下さい。「諦めること」は終わりを意味しますが「認めること」は始まりを意味すると思います。

これから来年の受験まで、どう考えても苦しい日々が続きます。最終的に頼りとなるのは自分自身です。自分を必要以上に追い込むことなく、時に自分を許しながら、少し気持ちに余裕を持ちながら、志望校に合格した自分を想像しては、ニヘラニヘラと笑いながら、前向きに乗り切ってくれればと思います。辛くなったらいつでも相談に来て下さい。

第１回全統記述模試
5月23日(日)

高3生・高卒生対象/記述・論述式
（国公立大二次・私立大入試/記述・論述式問題対策）

申込締切日 5月12日(水) 受験料 3,900円

第１回全統高1・2模試
5月30日(日)

高2生・高1生対象/記述式
（国公立大・私立大入試/記述式問題早期対策）

申込締切日 5月19日(水) 受験料 3,200円

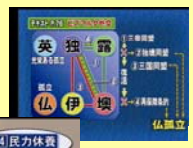
※現在受付中の模試です。試験会場はいずれも坂本教室となります。受験希望者は、別紙実施要項を確認の上、締切日までに受験料を添えて申込んでください。

河合サテライトおすすめ講座

◎ センター試験対策講座

国公立大受験生はレベルアップして高得点を目指そう！

英語リスニング、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B
現代文、古文、漢文
地理B、日本史B、世界史B
現代社会、政経、倫理
物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰ、
地学Ⅰ



◎ 二次・私大対策講座

志望大学突破のための実戦力を強化しよう！

入試現代文、入試古文
頻出化学、頻出物理、頻出生物
パーフェクト日本史B、パーフェクト世界史B
二次私大数学・ハイレベル数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C

計画的に早めの対策をしよう！
体験受講・相談随時受付中！⇒ 坂本教室まで

お車での送迎について

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。
お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

坂本教室からのお知らせ

坂本教室の 5月の休日は、
2日(日)、3日(月)、4日(火)、5日(水)、
16日(日) です。

メールアドレス info@katagirijuku.com